

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 2 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、発生の確認と防除指導方よろしく申し上げます。

記

1 情報の内容 果樹カメムシ類の発生と収穫直前における防除上の注意

2 果樹カメムシ類の発生状況と今後の発生予想

- (1) 予察灯における誘殺数は、9 月第 5 半旬～9 月第 6 半旬にかけてピークが見られ、10 月第 1 半旬に気温の低下によりやや減少したものの、依然として、県下全域で大きく平年値を上回っている（図 1）。
- (2) 果樹園への飛来数は、今後の気温の低下や日長が短くなるにつれて減少してくるものと予想されるが、10 月第 4～5 半旬まで予察灯への飛来が見られた場合（最低気温 17℃前後）がある。なお、平成 29 年 10 月 5 日発表の四国地方 1 か月予報では、気温は高い見込みとされていることから果樹園への飛来は平年に比べ遅くまで続くものと予想される。

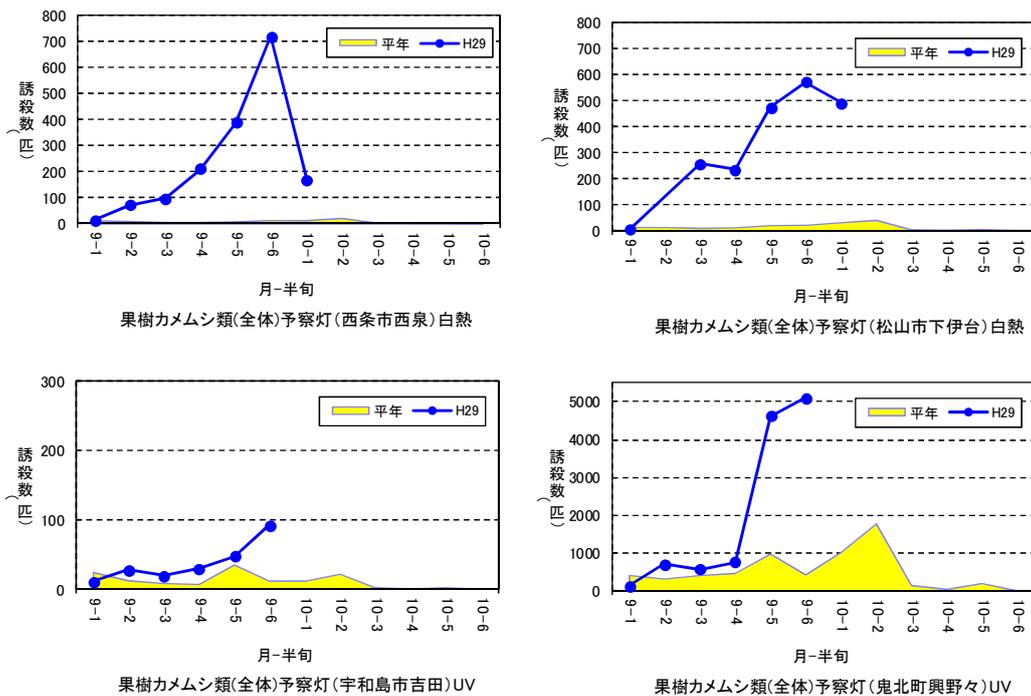


図1 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計値)
白熱：白熱球光源、UV：UV球光源

3 防除上の注意

- (1) カメムシ類の飛来は山林に近い果樹園で多くなるため注意する。
- (2) 果樹カメムシ類は、同種の成虫を引き寄せる習性があるため、飛来が認められる園地では早めに防除を実施する。
- (3) 飛来は日没 30 分～3 時間後に多くなるので、薬剤散布は夕方方が効果的である。
- (4) 防除に当たっては、薬剤の登録内容を遵守する（表 1）。特に、収穫時期を控えているため、収穫前日数、使用回数、周辺作物や周辺環境（魚・蚕・ミツバチなど）への影響に注意する。
- (5) 果樹カメムシ類に適用のある薬剤の多くは、ハダニ類やカイガラムシ類の発生を助長する（リサーチェンス）ので、散布後は他の害虫類の発生に注意する。

表1 果樹カメムシ類に適用のある主な防除薬剤

作物名	注1) IRAC コード	薬 剤 名	濃 度	毒 性		使用時期	使用 回数	防除効果 注3)	
				人 毒	注2) 水産			注4) 接触効果	注5) 残効性
かんきつ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	劇物	○	収穫14日前まで	3回以内	B	A
		ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫14日前まで	3回以内	B	A
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	劇物	○	収穫14日前まで	3回以内	B	A
		モスピランS L液剤	2,000	劇物	○	収穫14日前まで	3回以内	B	A
	3A	MR. ジョーカー水和剤	2,000	普通	△	収穫14日前まで	2回以内	A	A
		ロディー乳剤	2,000	劇物	×	収穫7日前まで	4回以内	A	B
		テルスター水和剤	2,000	普通	△※	収穫前日まで	3回以内	A	A
		テルスターフロアブル	3,000	劇物	×	収穫前日まで	3回以内	A	A
かき	4A	アドマイヤー水和剤	1,000	劇物	○	収穫7日前まで	3回以内	B	A
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫前日まで	3回以内	B	A
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	普通	○	収穫3日前まで	3回以内	B	A
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	劇物	○	収穫前日まで	3回以内	B	A
		ダントツ水溶剤	4,000	普通	○	収穫7日前まで	3回以内	B	A
		3A	MR. ジョーカー水和剤	2,000	普通	△	収穫14日前まで	2回以内	A
	アグロスリン水和剤		2,000	劇物	×	収穫前日まで	3回以内	A	B
	テルスター水和剤		1,000	普通	△※	収穫14日前まで	2回以内	A	A
	テルスターフロアブル		3,000	劇物	×	収穫3日前まで	2回以内	A	A
	2B	ロディー水和剤	1,500	劇物	×	収穫7日前まで	3回以内	A	B
キラップフロアブル		2,000	普通	○	収穫7日前まで	2回以内	A	A	

注1) IRACコード 4A：ネオニコチノイド系、3A：合成ピレスロイド系、2B：フェニルピラゾール系

注2) 水産植物への影響を示す。表記記号は、愛媛県農作物病害虫等防除指針（8ページ）を参照。

注3) 「接触効果」「残効性」のデータは、主に「果樹カメムシ おもしろ生態とかしこい防ぎ方」（堤，2003）等を参考にした。

注4) A：散布1日後の死虫率がほぼ100%、B：散布1日後に生存虫がある。

注5) A：5日以上、B：3日以上。

* 農薬を使用する場合には、最新の登録内容を確認してください。